



マルハン千葉みなと店

過去のイメージを払拭

「遊タイム」搭載機種に注目したい

トラベルもいい。イトもいい。だが、もっと手軽で身近な「Go To」で息抜きをしよう。大人のための、庶民の娯楽。銀玉がもたらすスリルと興奮。楽しく、安全に、今こそ「Go To パチンコ」だ。

今、パチンコは大きく変わる。運が良ければ1回りつつある。「遊タイム」を転で大当りを引くこともある。搭載した機種が連続と登場し、逆にヒキが悪いと数百回回っているからだ。

大前提として、パチンコは「もめる」と言われる。1回転ごとに大当りの抽選がのんだ人も多いはずだ。

Let's Go To パチンコ

身近なエンターテインメント

だが、それは過去の話にならない。遊タイム搭載機は、遊タイムまで到達しているからだ。遊タイムとは「定められた回転数、大当り恩恵を受けられる」というもの。

遊タイムの突入条件や恩恵は機種ごとに異なるが、共通しているのは、プレイヤーへの救済措置であるという点だ。定められた回転数に到達しても必ずしも当たるわけではないのだが、大当りする期待は高い。そもそも遊タイムの発動回転数まで当たらない人も多いためではない。

まずはゲーム性を楽しむこと



マルハン千葉みなと店

進化し続けるパチンコの世界

この秋以降、遊タイム搭載機種は一気に増えそう。遊タイム搭載機種は「PファイバークイーンII」「P新世紀エヴァンゲリオン 決戦！真紅」「P戦国乙女6 暁の関ヶ原」「P真・牙狼」などの注目機種はどれも遊タイムを搭載している。

アイデア次第では想像を超えるようなパチンコも出てくる。今後のパチンコの進化という意味でも楽しみが持てる。

コロナ対策のあれこれ ホールからも情報発信

もしかすると「新型コロナウイルスが怖くて……」と尻確認されていない。もともと込み入る人もいるかもしれない。が、一般的なイメージと能ったこともあり、換気性、は裏腹に、パチンコホールは能は非常に高かった。さらには、以前から多くのホールがかなり安全な場所だ。そもそも、4月1日からは完全営業中である。また、4月1日からは完全営業中である。また、4月1日からは完全営業中である。



©遊技通信

遊技台1台にリアを設置したホールも増えている。また、4月1日からは完全営業中である。また、4月1日からは完全営業中である。また、4月1日からは完全営業中である。



©遊技通信

Webサイト「パチンコ・パチスロ生活向上委員会」で「パチンコ業界のコロナ対策まとめ」発信中



パチンコメーカー35社で構成される日工組（日本遊技機工業組合）が運営するホームページ「パチンコ・パチスロ生活向上委員会」では遊タイムの普及、およびパチンコ店やパチンコ業界の新型コロナウイルス対策をまとめて発信中だ。特にTwitterでのツイートをまとめたページでは、全国のホールで行われているさまざまな対策を知ることができる。

「アルコールで手荒れをしてしまうというお客さまの声にお応えしてハンドクリームを設置しました」「3密の1つ『密集』を防ぐために、整理時の分散・休憩所やソファの利用制限・喫煙室の定員設定などに取り組んでるよ！」

各ホールで行われている対策を知れば、ホールが思っている以上に安心・安全な空間であることがわかるはずだ。

また、同サイトでは「遊タイム」の魅力を人気お笑い芸人によるYouTube動画を用いて発信している。



※国が行うGoToキャンペーンの対象ではありません